

# 製品安全データシート

作成：2018年6月6日  
改訂： 年 月 日

## 1. 化学物質等及び会社情報

製品名	<b>レボヘム™ AT</b> <b>[酵素試薬(AT R1)、基質試薬(AT R2)]</b>
会社名	シスメックス株式会社
所在地	〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号 シスメックス株式会社 テクノパーク
連絡先	〒651-2271 神戸市西区高塚台4丁目4番地の4 TEL：(078) 991-1911 (代表) FAX：(078) 991-1917

### [AT R1]

## 2. 危険有害性の要約

GHS 分類の記載	
物理化学的危険性	該当しない
健康に関する有害性	該当しない
環境に対する有害性	該当しない
GHS ラベル要素	
GHS 絵表示	なし
喚起語	なし
危険有害性情報	なし
注意書き	なし
GHS 分類に該当しない有害危険性	本品はヒト由来成分を含んでいます。原料は、HBs抗原、HCV抗体、HIV抗体の検査を行い、陰性の結果を得ていますが、感染性を完全に否定できる検査法がありません。また上記3項目以外の感染性物質については確認していません。従いまして、本品の取扱いにおいては、患者検体と同じように感染の危険性があるものと考え、十分に注意して下さい。

## 3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区分	混合物
化学的特性に関する情報	溶液
危険有害成分	該当しない
化学名又は一般名 濃度 (範囲)	該当しない
化学式	該当しない
CAS 番号	該当しない

## 4. 応急措置

吸入した場合	直ちに、被災者を新鮮な空気のある場所に移す。 被災者を毛布等でおい、呼吸しやすい姿勢で安静にする。 気分が悪い時は、医師の治療を受ける。
--------	--

皮膚に付着した場合	直ちに、汚染された衣類、靴などを脱ぐ。速やかに、皮膚を多量の水と石鹸で洗い、医師の診察を受ける。皮膚刺激が生じた場合、気分が悪い時は医師の手当てを受ける。 汚染された作業衣は作業場から出さない。汚染された衣類を再使用する前に洗濯する。
目に入った場合	直ちに、水で15分以上注意深く洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続ける。眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、治療を受ける。
飲込んだ場合	直ちに、医師に連絡する。口をすすぎ、うがいをする。無理に吐かせてはいけない。
応急措置をする者の保護	データなし

## 5. 火災時の措置

消火剤	この製品自体は燃焼しない。周辺火災の種類に応じた消火剤を用いる。
使用してはならない消化剤	水噴霧
特有の危険有害性	火災によって一酸化炭素及び二酸化炭素が発生する恐れがある。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	皮膚、眼、衣服などの身体とのあらゆる接触を避ける。風上から作業し、粉じん、ミスト、蒸気、ガスなどを吸入しない。
環境に対する注意事項 封込め及び浄化の方法・機材	河川、下水道、土壤に排出されないように注意する。 こぼれた物質を元の容器に戻さないこと。吸収材でこぼれた物質を集めること。すべての適用される法的要件および規制に従って、汚染された表面および装置を清掃する。適切な密閉されたラベルの付いた容器に移して保管/処分する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱	
技術的対策	粉じん、ミスト、蒸気、ガスの発生を防止する。
安全取扱い注意事項	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗う。蒸気を吸入しないでください。 眼や皮膚との接触を避ける。直ちに汚れたものや浸したものを取り除いてください。 特別な措置は必要ありません。
接触回避	
保管	
適切な保管条件	換気の良い冷所(2~8℃)に密栓して保管する。開封された容器は、漏出を防ぐために注意して閉じて直立させて保管してください。
容器包装材料	情報なし

## 8. 曝露防止及び保護措置

管理濃度	情報なし
許容濃度	情報なし
日本産業衛生学会	情報なし
ACGIH	情報なし
設備対策	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。 粉じん、蒸気、ガスなどが発生する場合、換気装置を設置する。
保護具	
呼吸の保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的性状、形状、色など	無色液体
臭い	情報なし
pH	7.85±0.20
引火点	情報なし
比重（相対密度）	情報なし
溶解度	情報なし

## 10. 安定性及び反応性

安定性	通常の保管及び取扱いにおいては安定。
危険有害反応可能性	調製物は「7. 取扱い及び保管上の注意」で推奨されるように取り扱い、保存した場合安定。
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	情報なし

## 11. 有害性情報

急性毒性	情報なし
皮膚腐食性／刺激性	情報なし
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	情報なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
発癌性	情報なし
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器毒性（単回曝露）	情報なし
特定標的臓器毒性（反復曝露）	情報なし
吸引性呼吸器有害性	情報なし

## 12. 環境影響情報

生態毒性	情報なし
残留性／分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし

## [AT R2]

## 2. 危険有害性の要約

GHS 分類の記載	
物理化学的危険性	該当しない

---

**健康に関する有害性**

皮膚腐食性・刺激性

環境に対する有害性

GHS ラベル要素

GHS 絵表示

区分 1

該当しない



喚起語

警告

危険有害性情報

H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

注意書き

安全対策

P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレートの吸入を避けること。

P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。

P333+P313 皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。

P363 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

廃棄

P501 内容物/容器を法令に従って廃棄すること。

GHS 分類に該当しない危険有害性

本品は動物由来成分を含んでいます。原料は、HBs抗原、HCV抗体、HIV抗体の検査を行い、陰性の結果を得ていますが、感染性を完全に否定できる検査法がありません。また上記3項目以外の感染性物質については確認していません。従いまして、本品の取扱いにおいては、患者検体と同じように感染の危険性があるものと考え、十分に注意して下さい。

---

**3. 組成・成分情報**

単一製品・混合物の区分

混合物

化学的特性に関する情報

溶液

危険有害成分

化学名又は一般名 濃度（範囲）

5-クロロ-2-メチル-2H-イソチアゾール-3-オンと 2-メチル-2H-イソチアゾール-3-オンの混合物 (3:1)

化学式

C<sub>4</sub>H<sub>5</sub>NOS, C<sub>4</sub>H<sub>4</sub>ClNOS

CAS 番号

55965-84-9

濃度 (w/w)

&lt;0.06%

---

**4. 応急措置**

吸入した場合

直ちに、被災者を新鮮な空気のある場所に移す。  
被災者を毛布等でおおい、呼吸しやすい姿勢で安静にする。  
気分が悪い時は、医師の治療を受ける。

皮膚に付着した場合

直ちに、汚染された衣類、靴などを脱ぐ。速やかに、皮膚を多量の水と石鹼で洗い、医師の診察を受ける。皮膚刺激が生じた場合、気分が悪い時は医師の手当てを受ける。  
汚染された作業衣は作業場から出さない。汚染された衣類を

目に入った場合	再使用する前に洗濯する。 直ちに、水で15分以上注意深く洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続ける。眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、治療を受ける。
飲込んだ場合	直ちに、医師に連絡する。口をすすぎ、うがいをする。無理に吐かせてはいけない。
応急措置をする者の保護	情報なし

## 5. 火災時の措置

消火剤	この製品自体は燃焼しない。周辺火災の種類に応じた消火剤を用いる。
使用してはならない消火剤	水噴霧
特有の危険有害性	火災によって一酸化炭素及び二酸化炭素が発生する恐れがある。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	皮膚、眼、衣服などの身体とのあらゆる接触を避ける。風上から作業し、粉じん、ミスト、蒸気、ガスなどを吸入しない。
環境に対する注意事項 封込め及び浄化の方法・機材	河川、下水道、土壤に排出されないように注意する。 こぼれた物質を元の容器に戻さないこと。吸収材でこぼれた物質を集めること。すべての適用される法的要件および規制に従って、汚染された表面および装置を清掃する。適切な密閉されたラベルの付いた容器に移して保管/処分する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱	
技術的対策	粉じん、ミスト、蒸気、ガスの発生を防止する。
安全取扱い注意事項	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗う。蒸気を吸入しないでください。 眼や皮膚との接触を避ける。直ちに汚れたものや浸したものを取り除いてください。 特別な措置は必要ありません。
接触回避	
保管	
適切な保管条件	換気の良い冷所(2~8℃)に密栓して保管する。開封された容器は、漏出を防ぐために注意して閉じて直立させて保管してください。
容器包装材料	情報なし

## 8. 曝露防止及び保護措置

管理濃度	情報なし
許容濃度	情報なし
日本産業衛生学会	情報なし
ACGIH	情報なし
設備対策	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。

	粉じん、蒸気、ガスなどが発生する場合、換気装置を設置する。
保護具	
呼吸の保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的性状、形状、色など	無色液体
臭い	データなし
pH	4.00±1.50
引火点	データなし
比重（相対密度）	データなし
溶解度	データなし

## 10. 安定性及び反応性

安定性	通常の保管及び取扱いにおいては安定。
危険有害反応可能性	調製物は「7. 取扱い及び保管上の注意」で推奨されるように取り扱い、保存した場合安定。
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	情報なし

## 11. 有害性情報

急性毒性	情報なし
皮膚腐食性／刺激性	情報なし
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	情報なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
発癌性	情報なし
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器毒性（単回曝露）	情報なし
特定標的臓器毒性（反復曝露）	情報なし
吸引性呼吸器有害性	情報なし

## 12. 環境影響情報

生態毒性	情報なし
残留性／分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし

## [AT R1, AT R2 共通]

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	容器は関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## 14. 輸送上の注意

国際規則	
国際航空機輸送協会危険物規則	輸送危険物に該当しない

国際海上危険物規則	輸送危険物に該当しない
国内規制	
陸上「鉄道／道路」	輸送危険物に該当しない
内陸水路	輸送危険物に該当しない
輸送の特定の安全対策及び条件	容器、包装に漏れのないことを確認し、転倒、落下損傷のないように積載し、荷崩れの防止を確実にを行う。
<b>15. 適用法令</b>	
適用される法規制	医薬品医療機器等法（体外診断用医薬品）
<b>16. その他の情報</b>	
一般的注意	ここに記載された情報は、シスメックス株式会社の最善の見地に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。